

パワーコンディショナの運転と停止

自立運転を開始するには

※H5.5J_223 には自立がありません。

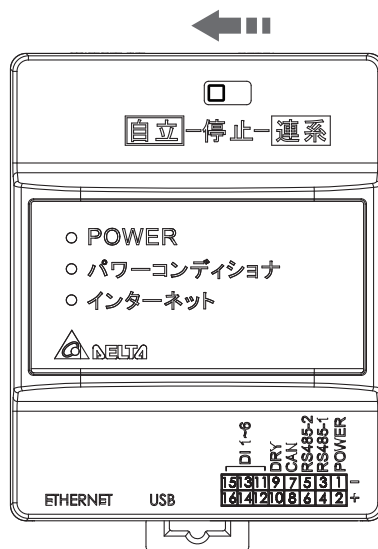
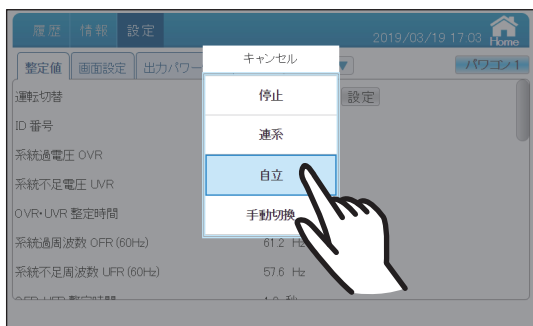
本機能は、停電が発生した際に、お客様が操作する必要があります。*1
自立運転を毎日行う場合は、毎日操作をする必要があります。

1. パワーモニターの「設定」画面から「整定値」を選択します。
(データコレクターの運転切替スイッチを「自立」に切り替えます。)

運転切替の「連系▼」をタッチするとメニューが表示されます。

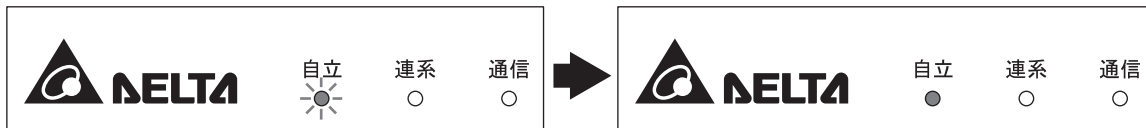


メニューから「自立運転」をタッチし、[設定]をタッチします。



PPM D1J_101

2. LED表示パネルの自立LEDが緑色点滅します。



3. しばらくすると点滅が緑色点灯に変わります。

4. 自立運転用コンセント *2 に電気製品の電源プラグを差し込みます。
5. 日没後自動的に運転を停止します。LED表示パネルが点滅 (1秒点灯、4秒消灯) します。

*1 パワーモニターやデータコレクターの電源を外部電源 (ACアダプターやUSB電源など) から供給すると、停電時にパワーモニターやデータコレクターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント (別途設置工事を行った場合)

- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、“パワーモニターの運転切替*”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

*データコレクターの場合は、運転切替スイッチ

ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kVA以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。
接続する機器の電力が1.5kVAを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。
運転切替*を一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つて、再度「自立」にしてください。

*データコレクターの場合は、運転切替スイッチ



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

発電量を見るには

発電量や積算発電量は、パワーモニターから見るができます。

操作方法につきましては、パワーモニターの取扱説明書をお読みください。

データコレクターをお使いの場合、アプリやマイデルタソーラークラウドから見る事が出来ます。

詳しくは、データコレクターやマイデルタソーラークラウドの取扱説明書をお読みください。